



## 山形県の古木・名木 No.117

### 楯の大銀杏 (たてのおおいちょう)

東村山郡中山町長崎

国道112号を山形から寒河江に向かって中山町に入ると、最上川を渡る手前で右手に大きなイチョウの木が目に入ります。

至徳元年(1384年)中山継信によって築かれた長崎楯(楯とは小規模な城砦のこと)の本丸があった所で、イチョウの木は、継信の孫中山宗朝の時代にこの前庭に植えられたと伝えられています。

幹周約7m、樹高23mの雄株で、樹齢は500年以上と推定されています。根元から1.5mのところまで2本に分かれています。樹勢は極めて旺盛で、晩秋になって葉が黄色に輝く頃が一番の見頃です。

〔山形県森林協会〕

森林やまがた No.149号(2013年11月)掲載

